

原始時代



原始人の生活(土器の作り方)

年月日	主な出来ごと	年月日	主な出来ごと
四五・九・一五	高今年金支給(満七〇歳以上の老人に対して)	四六・七・六	市街化区域市街化調整区域に関する都市計画決定
〃 一〇・一	佐賀地区広域市町村圏に加入	〃 一〇・一	葬祭具貸付開始
〃 一〇・五	国道二六三号線(北山パードライン)全面開通式	四七・二・二五	高令者に対して医療費助成
四六・四・一	水田転換特別対策事業着手(三か年)	〃	春日局区内電話自動化改式
〃	下田農地開発事業着手	四七・二・二五	農業構造改善事業着手(四か年)
〃	心配ごと相談所設定	〃 四・一	柚木農地開発事業着手(二か年)
〃	塵芥収集(不燃焼物)無料収集開始	〃 七・一四	惣座橋の落成
〃 五・一	国民年金支給開始	〃 七・二〇	役場庁舎増築工事竣工
〃 七・六	佐賀都市計画区域決定	四八・二・二二	三反田局区内電話自動化改式

概観

原始時代というのは一般的には「人類が出現してから階級的社会や原始的国家が成立するところまでの期間」を呼んでいる。わが大和町の歴史も日本の他の多くの地方と同様に数万年から数十万年前のいわゆる「先土器時代（旧石器時代・中石器時代）」に始まったと考えてよかろう。

この時代はもち論未開の時代で、野獸や野生の植物等を食料とした極めて幼稚な「自然採集経済」と呼ばれる段階の共同体社会であつたらうと考えられる。

沖積世になると種々な生活の進歩が展開され、物を貯蔵したり、煮炊きするために用いる土器が作られるようになった。又この時代に貝塚が作られるようになったことから、獸類や野生植物以外に海の魚貝類が食料とされたこともわかる。又貝塚の中には鳥獸の骨も発見されることから、鳥も捕つて食べていたに違ひなく、自然採集経済も次第に範圍が広められていたのである。この時代の遺物や遺跡は佐賀県にも相当数見られ、わが大和町でも発見されている。この時期には石器も打製石器と共に磨製石器が使われ、土器が製作されるようになって、その表面に縄目の文様をつけたのが多かったので、これを縄文式土器と呼び、この時代を「縄文時代」という。この縄文時代の人々は竪穴住居を主な住まいとし、山の幸、海の幸を求め、血縁關係の深い者で部落を作り、身分や貧富の差もまだなかつたと考えられる。紀元前三世紀ごろになると、大陸文化の影響を受けて稲作が始まり、石器の外に青銅や鉄器等の金属器が使用され、土器も縄文土器に比べて薄手で形の整つた赤褐色の土器、つまり弥生式土器と呼ば

れる新しい土器が使用された。この時代を「弥生時代」という。この時代は紀元三世紀ごろまで続いた。この弥生時代には水稲耕作が始められ、前の時代よりも貯蔵がきくし、水田を増したり、農耕技術を改良したりしていっそう収穫をふやし、多く貯えることもできるようになった。労働期間も断続的でそう長くはかからず、今まで主として女の仕事であったのが男も従事するようになったので、生活は次第に安定し、今までの狩猟や漁撈に代って生業の主体となっていた。日本人の米食生活は実にこの時代に始まったのである。又稲作は共同で働くようになったので、人々が次第に集まって村を作り、その人々を支配する有力者が出て村を支配するようになってきた。

弥生時代には、北九州を中心に村落ごとに死者をかね棺や箱式石棺などに納めて埋葬する共同墓地が発達したが、そこに埋葬されている棺には、中国や朝鮮から来たもの、日本で模造されたものなどが、副葬品としてまれに発見され、当時の貴重品を持っていることから多分当時の支配者層がいたと考えられている。このようにして人々の間に次第に貧富の差が生じてきたのである。村が各地に発達すると村は地域ごとにまとまったり、強い村が周りの弱い小さな村を統合して支配するようになり、やがて小さな国、つまり原始的小国家（部落国家）へと発展していくのである。この部落国家は紀元前一世紀ごろから多く現われ、その中には中国の朝廷に朝貢する国もあつたと中国の「漢書」の「地理誌」に記されている。又三世紀になると、中国の「魏志倭人伝」によれば、日本では部落国家の地方的な統合が進展して二十九か国があり、女王「卑弥呼」が君臨していたという。このような部落国家の大規模な地方的

統合がやがて大和朝廷によって国土統一をされたものであろう。

原始時代を整理するとおおよそ次のとおりである。

地質年代	洪	沖		積	世
	積	世	世	世	世
考 古 史 時 代	旧石器時代	中石器時代	新石器時代	金石併用時代	鉄器時代
	先 土 器 時 代	繩 文 時 代	弥 生 時 代	大 和 時 代	
原 始 時 代	原 始 時 代			原 始 か ら 古 代 へ	古 代

一、日本列島の誕生

一体、私達が住んでいるこの地球はいつごろできたのであろうか。初めは真赤な熔岩のかたまりだったが、次第に冷却してでこぼこの岩石になり、地球の表層の部分、つまり地殻ができてからでも三十億年から四十億年になるだろうと地質学者は言っている。でこぼこの岩石の低い所に水がたまり、始めはどこも塩からい水だったが、陸地の水は海へ流れ込み、海水はどこも塩からなくなった。

では、日本列島はいつごろ誕生したのだろうか。日本列島を形造っている最古の地層は約三億五千年前の古生代中期といわれている。しかしこのころはまだ日本は海の底で、三葉虫や紡錘虫が泳ぎ回っており、陸地では飛龍や恐龍等がのそりのそりと歩き回っていた。そして石炭期、二畳紀と続いて、古生代も終